

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
国語	5 年次	文学 A	4 単位	精選現代文B（東京書籍）・精選古典B新版（東京書籍）・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）・新精選古典文法（東京書籍）・基礎から解釈へ漢文必携四訂版（桐原書店）・核心古文単語 351（尚文出版） ※4年次国語総合の教科書

科目のねらい

文学的な文章の読解を通して、生涯にわたる社会生活に必要な言語・文学の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自らの理解や関心、知識に関連をもたせてテキストを理解するとともに、国語に関する理解や関心、知識を広げ、深めることができる。適切で多様な語彙、構文、表現技法、非言語的コミュニケーション技法を理解し、アイデア豊かにテキストを読む力や表現する力を進んで高めることができる。
B	言語についての知識・理解・技能	言語文化や、正しい文法などの言葉の決まりについての理解を深め、知識を身に付けている。さまざまな言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を理解している。作者の選択した言語、文章の構造、技法、スタイル（文体）などが受け手に与える効果を理解している。
C	話す・聞く	受け手に与える影響を認識し、目的や場に応じた言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を分析し、話したり聞き取ったりし、自分の考えを深め、発展させている。適切で多様な語彙、表現、例示、非言語的コミュニケーション技法などを用いて、意見や考え、思想や心情を述べている。
D	読む	テキストを分析し、文脈、言語、文章の構造、技法、スタイル（文体）などからの確に読み取っている。テキストから意見や考え、思想や心情を、的確に捉え、論理的な方法で整理している。テキストの価値を考察し、自分の考えを深め、発展させている。
E	書く	受け手に与える影響を認識し、相手や目的に応じた言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を分析し、適切な文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。適切で多様な語彙、表現技法、例示などを用いて、意見や考え、思想や心情を書いている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	(1) 古文 用言と助動詞の確認 (2) 古文 『伊勢物語』 「渚の院」 (3) 漢文 『十八史略』 「先從隗始」 (4) 現代文 小説 「山月記」 (5) 古文 『枕草子』 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」 (6) 漢文 『韓昌黎集』 「雑説」 『古文真宝後集』 「春夜宴桃李園序」 (7) 古文 『古今和歌集』 [学習事項] 用言と助動詞の強化、敬語の基本、和歌の修辞、 漢文の句法、クリティカルリーディング	(1) 用言と助動詞を体系的に理解する。 (2) 古文に慣れ、本文を正確に読み取る。歌物語を読み、展開や内容の面白さを味わう。 (3) 漢文の読み方を確認し、内容のおもしろさや論の展開を味わう。 (4) 登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 (5) 随筆に書かれた情景や出来事を的確に捉え、自然や人間に対する古人の優れた感性に触れる。 (6) 唐代のさまざまな文章を読み、メタファーの内容や文体、修辞技巧を的確に把握する。 (7) さまざまな和歌を鑑賞し、言語感覚や想像力を豊かにする。 ●総括的評価 ペーパーテスト 【評価の観点：B、D、E】 山月記メタファー 【評価の観点：A、C】
	(8) 評論 「『である』ことと『する』こと」 「現代日本の開化」 [学習事項] クリティカルリーディング	(8) 例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。 ●総括的評価 レポート 【評価の観点：B、D、E】
後期	(9) 古文 『更級日記』 「門出」 「物語」 (10) 漢文 『楚辞』 「漁父之辞」 『莊子』 「曳尾於塗中」 『論語』 「長沮桀溺」 (11) 古文 『源氏物語』 「光源氏の誕生【桐壺】」 「若紫【若紫】」 (12) 漢文 『十八史略』 「鶏口牛後」 『太平広記』 「夜行逢鬼」 (13) 古文 『新古今和歌集』 [学習事項] 漢文の句法、敬語の基本、和歌の修辞、文語文法総括、クリティカルリーディング	(9) 日記を読み、作者の境遇や出来事を的確に捉え、作者のものの見方や感じ方、考え方を理解する。 (10) 文章の構成や展開を理解し、論旨を的確に捉え、さまざまなもの見方、考え方に触れる。 (11) 内容を的確に読み取り、登場人物の行動や心情を捉え、日本文化に対する理解を深める。 (12) 史話や伝奇小説を読み、話の展開に即して、内容を正確に読み取る。また、発想や表現の特色を理解し話のおもしろさを味わう。 (13) さまざまな和歌を鑑賞し、言語感覚や想像力を豊かにする。 ●総括的評価 ペーパーテスト 【評価の観点：B、C、D】 文学史調べ・文法課題 【評価の観点：A】
	(13) 現代文 宮沢賢治 『詩』 「永訣の朝」 (三部作) 「雨二モ負ケズ」 「春と修羅」 「生徒諸君に寄せる」 『童話』 「よだかの星」 「オツベルと象」 「なめとこ山の熊」 (Eキスト) 古文 敬語の応用 [学習事項] クリティカルリーディング、敬語の応用、漢文句法総括	(13) 人間について考えを深める。 ●総括的評価 ポスター作成+プレゼン 【評価の観点：B、C、D、E】 (Eキスト) 敬語のまとめ

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
国語	6 年次	文学B	4 単位	精選古典B新版（東京書籍）、 精選現代文B（東京書籍）

科目のねらい

文学的な文章の読解を通して、生涯にわたる社会生活に必要な言語・文学の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自らの理解や関心、知識に関連をもたせてテキストを理解するとともに、国語に関する理解や関心、知識を広げ、深めることができる。適切で多様な語彙、構文、表現技法、非言語的コミュニケーション技法を理解し、アイディア豊かにテキストを読む力や表現する力を進んで高めることができる。
B	知識・理解・技能	言語文化や、正しい文法などの言葉の決まりについての理解を深め、知識を身に付けている。さまざまな言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を理解している。作者の選択した言語、文章の構造、技法、スタイル（文体）などが受け手に与える効果を理解している。
C	話す・聞く	受け手に与える影響を認識し、目的や場に応じた言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を分析し、話したり聞き取ったりし、自分の考えを深め、発展させている。適切で多様な語彙、表現、例示、非言語的コミュニケーション技法などを用いて、意見や考え、思想や心情を述べている。
D	読む	テキストを分析し、文脈、言語、文章の構造、技法、スタイル（文体）などからの確に読み取っている。テキストから意見や考え、思想や心情を、的確に捉え、論理的な方法で整理している。テキストの価値を考察し、自分の考えを深め、発展させている。
D	書く	受け手に与える影響を認識し、相手や目的に応じた言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を分析し、適切な文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。適切で多様な語彙、表現技法、例示などを用いて、意見や考え、思想や心情を書いている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	長編の漢文読解 歴史上の人物の行動や心情について理解する 史記 1 『鴻門之会』 『四面楚歌』 『項王自刎』 『吾所以有天下者何』 『大鏡』道真の左遷、花山天皇の出家、道長、伊周の競射、肝試し	長編の漢文読解を通して、古代中国の人物の心情の変化について理解する。また、当時の権力の移り変わりの背景についても理解を深める。 古文については、歴史物語の読解を行う。古文の中に漢文も入っているもので、漢文と古文のどちらの知識も生かしながら読解する。 総括的評価 テスト A・B・D・E

	<p>歌論 『俊頼髓脳』鷹狩りの歌</p> <p>歌論 『無名抄』おもて歌のこと 『離魂記』</p> <p>『徒然草』・は盛りに 『玉勝間』兼好法師が詞あげつらひ</p>	<p>歌論の読解を通して当時の人々がどのような価値観を持っていたのかについて考える。</p> <p>総括的評価 テスト・レポート A・B・D</p> <p>テキストを基にした集団討論 C</p>
後期	<p>史記2 韓信伝3編</p> <p>評論 「相手依存の自己規定」 「言語と記号」</p>	<p>漢文においては、話の展開を捉え、そこに描かれている世界を読み味わう。</p> <p>筆者の挙げる事例から、筆者が何を伝えようとしているのかを掴む。</p> <p>総括評価テスト（予定）D</p>

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
国語	6 年次	文学C	2 単位	精選古典B新版（東京書籍）、 精選現代文B（東京書籍）

科目のねらい

文学的な文章の読解を通して、生涯にわたる社会生活に必要な言語・文学の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深める。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自らの理解や関心、知識に関連をもたせてテキストを理解するとともに、国語に関する理解や関心、知識を広げ、深めることができる。適切で多様な語彙、構文、表現技法、非言語的コミュニケーション技法を理解し、アイディア豊かにテキストを読む力や表現する力を進んで高めることができる。
B	知識・理解・技能	言語文化や、正しい文法などの言葉の決まりについての理解を深め、知識を身に付けている。さまざまな言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を理解している。作者の選択した言語、文章の構造、技法、スタイル（文体）などが受け手に与える効果を理解している。
C	話す・聞く	受け手に与える影響を認識し、目的や場に応じた言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を分析し、話したり聞き取ったりし、自分の考えを深め、発展させている。適切で多様な語彙、表現、例示、非言語的コミュニケーション技法などを用いて、意見や考え、思想や心情を述べている。
D	読む	テキストを分析し、文脈、言語、文章の構造、技法、スタイル（文体）などからの確に読み取っている。テキストから意見や考え、思想や心情を、的確に捉え、論理的な方法で整理している。テキストの価値を考察し、自分の考えを深め、発展させている。
D	書く	受け手に与える影響を認識し、相手や目的に応じた言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）を分析し、適切な文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。適切で多様な語彙、表現技法、例示などを用いて、意見や考え、思想や心情を書いている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	長編の漢文読解 歴史上の人物の行動や心情について理解する 史記 1 『鴻門之会』 『四面楚歌』 歌論 『無名抄』 おもて歌のこと	長編の漢文読解を通して、古代中国の人物の心情の変化について理解する。また、当時の権力の移り変わりについて背景知識についても理解を深める。 古文については、歌論を扱う。当時の人々がどのような価値観を持っていたのかについて理解する。 総括的評価 テスト A・B・D・E

	<p>随筆 『徒然草』・は盛りに、『玉勝間』兼好法師が詞のあげつらひ</p> <p>評論 『相手依存の自己規定』</p>	<p>随筆については、テキストを読み比べ、筆者の意見に対して自分の考えを持つ。</p> <p>テキストを基にした集団討論</p> <p>C</p> <p>評論については、自己認識のあり方について考えを深める。</p>
後期	<p>評論 「言語と記号」</p>	<p>現代文に関しては、論の展開を意識して主張を理解し、抽象的な概念についても思考できるようにする。</p> <p>総括評価テスト（予定）D</p>